

雪氷対策作業の流れ

NEXCO東日本北海道支社では、高速道路の雪による通行止めや交通規制を最小限にするため、24時間体制で雪氷作業を実施しています。

①. 情報収集

《気象観測機器等の設置》

気温、路温、風向速データのリアルタイム監視を行っております。



気象観測機器

《雪氷巡回》

気象、路面状況及び交通状況の把握を行っています。



雪氷巡回

②. 雪氷作業

《新雪除雪・圧雪処理作業》

新雪の除雪や圧雪の処理は、除雪車を3台並べて道路全体を一気に除雪する方法で実施します。



新雪除雪

《拡幅除雪作業》

除雪作業により路肩部に堆積した雪はロータリー除雪車で車道の外に投雪します。雪を捨てることのできない場所では、ダンプトラックに積み込み、雪捨て場まで運搬します。



拡幅除雪

《凍結防止剤散布作業》

路面の凍結を防ぐため、路面に凍結防止剤(塩化ナトリウム)を散布しています。散布作業中の作業車を追越する際には、十分ご注意ください。

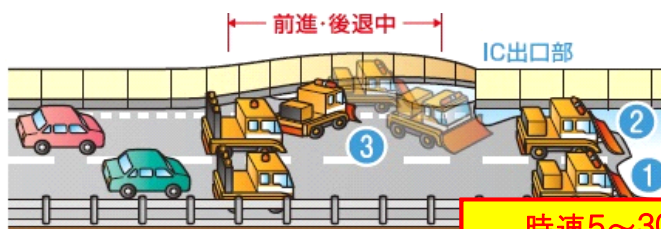


凍結防止剤散布作業車

《マルチ除雪作業》

札幌西IC～札幌南IC間では、除雪車7台と標識車2台がチームを組み、通常除雪の約2～3倍のスピードで除雪し作業時間の短縮を図ります。

通常除雪



時速5～30km/h

マルチ除雪



時速30～40km/h

マルチ除雪作業→

作業へのご理解とご協力をお願いします。